

甲佐町議会だより

第147号



清流

平成25年11月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 本田 新

9月定例会



保育園シリーズ（甲佐保育園）

平成24年度各会計決算、条例の一部改正

工事請負契約及び物品購入契約の締結 ②

平成25年度一般会計・特別会計補正予算 ③

論点Q&Aそこが知りたい ④～⑤

一般質問4人ここが聞きたい ⑥～⑨

傍聴席から一言 ⑩

9月定例会

平成24年度各会計歳入歳出決算額

会計の名称	歳入	歳出	差引額
一般会計	71億5,246万円	66億480万円	5億4,766万円
国民健康保険	19億8,682万円	18億8,385万円	1億297万円
介護保険	13億1,812万円	12億3,690万円	8,123万円
後期高齢者医療	1億3,316万円	1億3,135万円	180万円
合計	105億9,056万円	98億5,690万円	7億3,366万円

水道事業会計決算額

収益的収入	1億4,232万円	収益的支出	1億2,711万円
資本的収入	2,150万円	資本的支出	4,438万円

9月定例会は、13日に開会し、18日まで6日間の審議を行った。案件は、平成24年度一般会計他、各特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算の認定、報告案件1件、工事請負契約の締結3件、物品購入契約の締結1件、条例案件2件、平成25年度甲佐町一般会計及び特別会計補正予算、追加の人事案件2件、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。なお、一般質問には、4人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

決算の認定

平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定については、賛成9人、反対1人で認定した。

は、全会一致で認定した。

工事請負契約の締結

①甲佐中学校屋外プール改築工事
丸昭建設株式会社
1億3545万円

②町道上揚井戸江線（仮称）井戸江峡橋A1橋台工事
田中建設株式会社
甲佐支店
7875万円

③町道松ヶ崎妙見谷線
日出来二号橋下部工事

物品購入契約の締結

株式会社清甲
7791万円
甲佐町営乗合バス車両購入
共進興産株式会社
753万8970円

条例案件

平成25年度地方税法等の一部改正に伴う町税条例及び国保税条例の一部改正を全会一致で可決した。

甲佐町税条例の一部改正

①公的年金等の所得に係る個人の町民税特別徴収において、納税義務者が町外に転出した場合も特別徴収を継続する。

②年金所得に係る仮特別徴収税額を前年度の年税額の2分の1相当額とする。

国民健康保険特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算の認定について

そのほかに、

このうち財政調整基金への繰入額は1億8900万円となる。

である。

歳入歳出差引額が5億4766万円となり、これから翌年度へ繰り越すべき財源1億7152万円を差し引いた実質収支額は、3億7614万円

③ 上場株式等の配当所得等に係る町民税課税の特例

④ 一般株式等の譲渡所得に係る個人の町民税課税の特例

国民健康保険税条例の一部改正

町税条例及び国保税条例の所得計算方法の一致等のための規定の整備

平成25年度甲佐町一般会計補正予算

1億3700万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ60億5651万4000円とする補正予算を全会一致で可決した。

主なものとして、

○歳出

総務費

事業確定に伴う精算金 1191万4000円

民生費

保育士等処遇改善臨時特

例事業補助金 1241万円

土木費

改良工事費 7630万円

消防費

上早川消防センター建設費 350万円

○歳入

固定資産税 800万円

軽自動車税 270万円

平成25年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算

6658万6000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ18億1931万4000円とする補正予算を全会一致で可決した。

平成25年度甲佐町介護保険特別会計補正予算

8238万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億6626万8000円とする補正予算を全会一致で可決した。

甲佐町教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に西坂登氏と渡邊眞彰氏が選任された。



西坂 登氏

また、渡邊氏は、早川の西福寺の住職で平成12年には白旗小学校のPT



渡邊 眞彰氏

道州制導入に断固反対する意見書

【意見書】

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それ

A会長、13年には高校の育成会会長など、豊富な経験と見識の持ち主であり、誠実実直柄で、地域での信頼度も高く適任として、全会一致で同意した。

国に対し「消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願

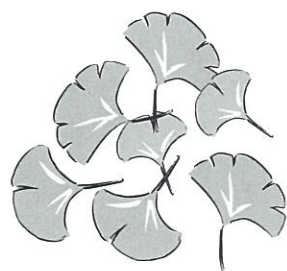
【請願書】

安倍政権の経済政策により、株価の値上がり、急激な円安が進行し、景気指数向上へ効果が出ています。しかし、食料品やガソリンなどの値上げで私たちの暮らしは苦しくなる一

熊本県町村議会議長会からの道州制導入に反対する要望は、全会一致で採択し、議員発議による衆参両議長及び関係各大臣宛の意見書について、原案のとおり可決した。

方です。多くの国民は景気回復を実感しておらず、雇用情勢や個人消費も厳しい状況にあります。当該地域での経済の疲弊も甚だしく、失業率は目に見える改善もなく、中小企業の倒産・閉店にも歯止めがかかっていません。私たちは、住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税を中止することを強く求めます。

井芹しま子議員が紹介議員となり、消費税廃止宇城各界連絡会 代表緒方幸一氏から提出された請願は、賛成3人、反対8人で不採択となった。



そこが

知りたいQ&A

9月定例会 質疑より



グリーンセンター案内看板

グリーンセンターの整備は

Q グリーンセンターの利用者増および活性化のため森林組合と協議を重ねて施設等の充実を図るべきではないか。

A 森林組合から町にグリーンセンターの活用について要望があつており、その中で町は対応をして

いる。

平成24年度は屋外トイレ改修のための補助金を助成しており、またグリーンセンターの案内看板を町で設置した。

町のキャッチフレーズ「花と緑と鮎のまち」にちなんで競り人として登録されている方に花のプレゼントを実施している。今後もセンターの活性化のため組合と協力しあつていきたい。

町営乗合バスの更新

Q 町営乗合バスが更新されるが現在のバスは何年使用されていたか。

A 現在のバスは平成17年に電源立地交付金を利

用して購入した。走行距離は50万kmくらい走行している。

Q 現在の町営乗合バスの処分方法はどうか。

A 現在利用している町有バスは13年間使用しているので廃棄し、その代わりに現在の町営乗合バスを町有バスとして利用する。

リサイクルステーションに出すリサイクル品について

Q リサイクル品の売却代はどの位の金額か。

A 甲佐町でのリサイクル品の売却代は年間260万円くらいである。甲佐町と御船町二町では650万円弱の売却代となる。

敬老会事業について

Q 敬老会は以前は二年に一回開催されていたが現在は毎年開催されている。その事業費はどうか。

A 毎年開催されているが、町より70歳以上の方一人当たり6000円を交付している。

敬老祝い金贈呈について

Q 敬老祝い金については、非常に喜ばれているがその内容は。

A 平成24年度の実績は百歳になられた方が10人おられ、その方々に祝い金として三万円を贈呈した。

また、八十八歳になられた方が105人おられ、その方々には記念品を贈呈した。

A 申請は、申請書、予算の内容、プログラムを、実績には清算書、領収証の写しを添付していただいているが、簡素化については検討したい。



白旗敬老会



シルバー人材による作業状況

シルバー人材センターの運営状況は

Q シルバー人材センターに町から運営補助金を助成しているが運営状況はどうなっているか。

A 平成24年度末現在で、会員が55人、延べ会員数が650人、受注件数が563件となっている。

Q 高齢化が進み、買い物等ができない方のために、物件をワンコインで依頼する事業の取り組み

をセンターで出来ないか。

A ワンコインの件については、センターで検討していきたいという話は聞いている。

ろくじ館の改修後の運営はどうか

Q ろくじ館が3300万円ほどかけて改修されたが、利用客数の変化、利用客の声の反応はどうか。

A ろくじ館の改修費は、3368万円強の事業費

で改修した。

利用客は、4月オープン時に9339人ということで、約2200人くらい増えていて、売り上げも100万円強であった。

今年は、猛暑等もあったせいか品数の搬入が少なかったためか横並びになってきている。

利用客様の反応は売り場面積が広くなり、室内が明るくなった。また、看板が2ヶ所設置しており、場所も分かり易くなったと好評をいただいている。

やな場の運営は

Q やなの契約方法・使用料はどうなっているか。

A やなは町有財産であるから入札により契約している。基本使用料は400万円、プラス売り上げ総額から4000万円を控除した後の額の10%の額である。

有害鳥獣捕獲委託料の内容は

Q 有害鳥獣捕獲委託について、内容の説明を。

A 有害鳥獣駆除隊として、カラス班(4人)、イノシシ班(12人)が編成され、年間を通じて駆除活動を行っている。

その駆除隊への委託料が50万円である。24年度の駆除実績は、イノシシが29頭、カラスが89羽、サルが2頭となっている。

国民健康保険の一人当たりの医療費は

Q 国保会計は厳しいが、一人当たりの療養諸費は近隣と比べてどうなっているか。

A 郡内の町及び美里町に比べると甲佐町は21年度は一番高く、22年度は二番目、23年度も一番高くなっている。

Q 療養諸費の抑制を図るため、どんな方策を考えているか。

A 早期発見・早期治療のため、多くの方々が健診を受けられるよう啓発したい。



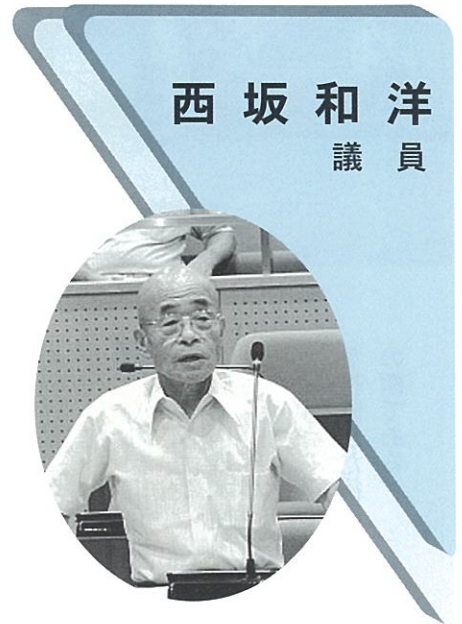
1人あたりの療養諸費

町名	平成21年度	平成22年度	平成23年度
甲佐町	324,966	334,209	349,172
御船町	300,478	332,402	341,489
嘉島町	308,302	335,019	344,720
益城町	292,974	308,944	327,098
山都町	288,457	309,223	327,054
美里町	291,893	305,988	313,372
熊本県平均	313,463	323,679	338,411

一般質問と答弁

ここが聞きたい

西坂和洋 議員



町道改良のことで

800万円を試算している。

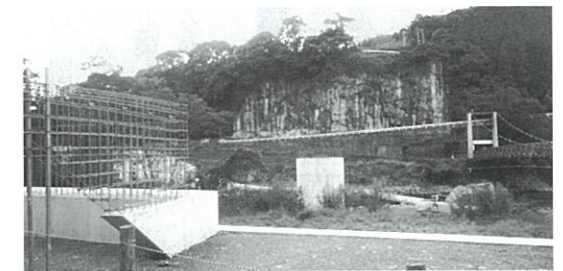
議員

町道上揚井戸江線の今後の全体計画、第一期工事の完成予定を聞きたい。

建設課長

本町道は、第一期工事として、平成22年度から27年度まで6年計画で、国の社会資本整備総合交付金事業で行っており、総事業費約8億円の内65%を補助、残り35%を過疎債で計画している。

また、第二期工事として、キャンプ場から旧宮内小学校まで総延長約500m、概算事業費7億



町道上揚井戸江線改良工事

林道として整備するのが妥当と考える。それには、4項目の条件がある。

- 一、地域森林計画に記載された林道であること。
- 二、林道法に規定する自動車道であること。
- 三、過疎地域においては、道路延長が800m以上、利用森林面積30ha以上。
- 四、10年以内に利用森林面積の10%が整備されること。

以上の要件を満たす必要がある。

上豊内地内の県道について

議員

県道三本松甲佐線、上豊内地内のバイパス工事がほぼ完成したが、交差点の標識等はどうなっているか。

建設課長

標識等は、近々、県の方で施工されると聞いているが、横断歩道等については町として要望を出

国保税の徴収率アップは

議員

国民健康保険の税率引き上げをおこなったが、徴収率はどうか。

税務課長

税率を引き上げたが、徴収率に影響はないようである。国民健康保険特別会計の運営悪化を認識しながら徴収の強化に努めている。

議員

この路線が全線開通すると地域住民等が安心して通行できる。町長の考えを聞きたい。

町長

地域の方々の心配されていることは、十分認識している。今後の工事について、

西原区から美里町の町境までの道路は

議員

町道西原線について、美里町へ通じる道として延伸の要望が宮内地区区長会から出していると聞くが、町道、又は林道として整備できるかたずねる。

産業振興課長

その道路については、



公売会

井芹 しま子 議員



入札での競争性は働いているのか

議員

今年の落札率は98.18%になってきている。高止まりの落札率が続いているが、入札における競争性は働いているのか。

町長

設計単価より5%程度の歩引きを行っており、入札は95%からスタートをするため、高止まりの一因になっている。

議員

落札率の高さと談合問題の関係はよく指摘されるところだが、町は談合

問題にどのような認識と対応をしているのか。

総務課長

入札は正規の手続きによつて厳正に行っており、談合の事実は一切ない。談合があった場合、甲佐町談合情報処理要項に基づき、厳正な対応を行っている。

議員

今年、国では公共工事に従事する技能労働者の労務単価を引き上げた。これを現場に反映させることが重要だが、町の対応は。

総務課長

事業主と労働者の雇用関係の中で、労務契約が成り立っており、単価は県の労務単価をもとに積算されていると考えている。



健康づくりの場に（鮎緑）

健康づくりの取り組みは

議員

長寿に一番必要なのは丈夫な足腰であるといわれるが日頃から気軽に利用できる常設のトレーニング教室設置の考えは。

町長

あゆみの風呂も含めて、施設の活用についてアンケート調査を行っており、結果を踏まえて検討を深

めたいと考えている。

議員

健康づくりの基礎となる食生活について、子育て世帯や子供たちの食育をより充実させるべきではないか。現在の実践は。

健康センター所長

妊娠中の方については母子手帳交付の時に生活習慣病、栄養問題を含めて話をしており、出産後には子供の健診時に集団での栄養、食に関する話をしている。

学校教育課長

近年、偏った栄養摂取や学校へ朝ご飯を食べてこない等、子どもたちの健康を取り巻く問題は深刻化しており、町においては栄養士や栄養教諭たちによる訪問給食や食についての授業、また食習慣の正しい知識を家庭へ伝えるための給食便りを発行している。

待機児童解消と保育士待遇改善は

議員

若い世帯を対象にした定住促進政策等もあつて、児童が増えているが、一方保育所に入所出来ない待機児童の問題も出ている。政策に責任を持ち、待機児童の問題はしっかりと対応すべきではないか。

福祉課長

現在4名の待機児童がいる。若い子育て世帯の方々の転入等により入所希望者が増えているが、ここ数年がピークと考えている。待機児童の解消に向けては、まずは保育士の確保が必要と考えているが、家庭的保育事業も並行して検討していきたい。

議員

国においては保育士の確保に向けて、給与など待遇改善の予算を組んだが、どう反映されるのか。

福祉課長

保育士の給与等は各園の判断で高いところも、安いところもある状況である。

水防計画について

議員

日本各地で大雨による大きな被害が出ている。甲佐町では、水防計画で危険箇所を具体的に上げているが、こうした個所の改善は。



馬門川（水防計画）

建設課長

改修計画は、あらゆる角度から調査検討中だが、まだ具体的となっていない。ただし、一部、土石流危険渓流である六谷地区においては、砂防ダムについて事業化されることとなった。

議員
荒田 博



道路整備5カ年計画
画以外の道路は

議員

道路整備5カ年計画の未搭載道路中でも船津山口から迫に通る町道について改修する必要があるのではないか。

建設課長

路線名が町道山口甲佐線になり、船津の山口地区を起点とし町道の船津堅志田線を横断し迫から谷を通じて、県道の今吉野甲佐線を終点にしている。今月に入り船津地区からも道路改良の要望が出ている。

議員

地区からも要望がでているならば早急に道路整備5カ年計画に載せて対応をお願いしたい。



早急な改良が望まれる町道山口甲佐線

待機児童の解消を

議員

本町において子育て支援、定住促進等を推進し

ているが、待機児童の数が増えてきており、その中でも0歳児の入所が厳しいと聞いている。今後は町独自で解消する必要があると思うが。

町長

子育て支援と定住促進については成果がでてきており、徐々に子供の数も増えてきている。それに反比例して、待機児童が発生している状況である。国の方でもいろいろな制度として、何とか待機児童の解消に向けて動いており、その辺りの動きも町として見る必要がある。

議員

入所申し込みに対して具体的な回答が貰えず、職員の対応について不安の声を聞くが。

福祉課長

町としての対応が保護者の方が安心されるような対応ができないというような状況もある。入所

一部事務組合の広域化への状況は

議員

今年の4月から5町で一部事務組合の統合への取組み状況は。

環境衛生課長

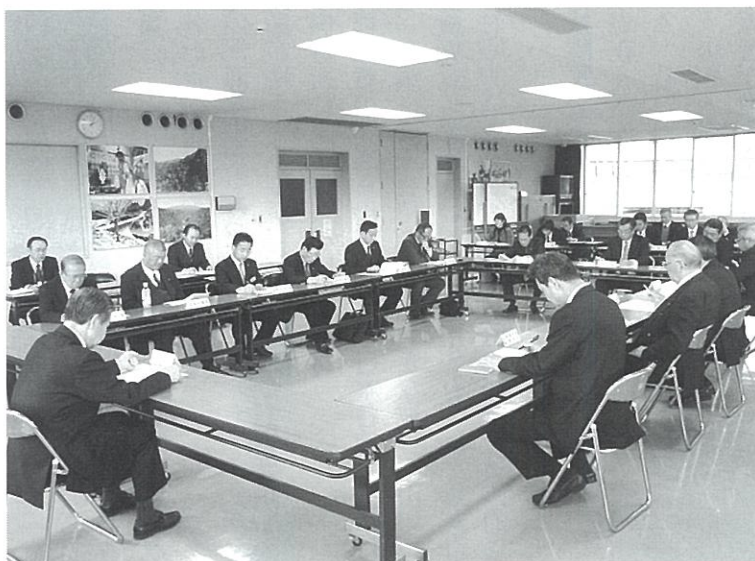
益城、嘉島、西原村、御船町、甲佐町の5町村で構成している熊本中央広域事務協議会につきましては、いろいろな一般廃棄物の広域処理に関する部分、一部事務組合の広域化、火葬場の広域化等について協議することになっている。協議会は年4回ほど計画して11月に第3回の協議会を、3

議員

組合の統合関係、ごみ処理、し尿処理、火葬場の施設整備などの現状を広域化に向けたそういうものの比較を具体的な数値に基づき協議する予定で来年の第4回協議会で最終的な考え方・方針を決定する予定としている。目標としては平成27年から統合というところを進めている。

町長

火葬場については様々な視点から今検討を重ねている。町から2人組合議員がおられるので、近々全員協議会という形で執行部側との協議をしたいと考えている。



一部事務組合広域化への検討会



宮川安明 議員

人・農地プラン

議員

人・農地プランを進めたことにより、見えてきた問題点を、今後、どのようにして解決していくのが大事であり、その問題・課題を少しでも解決しないと、結果的に何も出来なかったということになりはしないか。

産業振興課長

担当課として、問題点を五つくらい考えている。また、その支援策も考えており、継続的な行政の支援が最も重要と考えている。

議員

この人・農地プランはまちづくりとして、町の体制を整える必要があると思うが、町長はどう考えているか。

町長

議員のご指摘のとおり、ある意味でまちづくりの観点からも、支援体制の充実が、充分考えていくべきと思う。

乙女台地について

議員

乙女地区の水道試掘調査の結果について、水量と水質はどうだったのか。

環境衛生課長

水量・水質共に満足する結果となっている。

議員

水量・水質共に大丈夫と言うことだが、水源が確保されたことを踏まえて、今後、乙女台地の活用をどう考えているか。

企画財政課長

定例会において、乙女台地の開発計画の質問があり、第6次総合計画の中でも27年度までに、土地利用計画の策定も掲げられており、今後インフラの整備、道路・排水・水路などが一番重要と考える。

町長

乙女台地の活用について、企業誘致を含めたところでの話と思うが、近い将来スマートインターも完成し、交通の利便を考えたとき、乙女台地は適地と思う。

ただ、そのためには公共の整備を図っていか

田口橋改修について

議員

田口橋について尋ねるが、現在の状況、それから、今後の県・国に対しての働きかけをどうするのか聞きたい。

町長

田口橋の改良については、宮川議員をはじめ、多くの議員の方から意見を頂いている。先般、県議会の6月議会の中で、土木部長から答弁があり、現在の橋梁の下部工を活かして、上部工を改修・軽量化することで幅員を

確保したい。また今後、町あるいは、国土交通省と協議をしながら進めたいという旨の答弁があった。これは非常に前進したと受け止めており、今後県ともいろいろ協議しながら、町としても全面的に協力し、要望活動を進めていく。



乙女台地のさく井工事



早期改修が望まれる田口橋

傍聴席から一言

横田 唐津 照美

住みよい甲佐町、みんなのために

ほとんど夜の外出に縁のない私が、先日久しぶりに夜行バスで市内から御船経由で帰った。トンネルを出たとたん今まで明るかった夜景がいつぱんに闇夜に変わってしまった。

チラチラ見える人家の灯と信号の明かり、甲佐大橋の外灯だけが赤々と見えた。今までも何度か感じてきたことだったけど、月のない夜だけに余計思ってしまった。

数年前、都会から帰郷した従兄と市内で食事をしての帰り、糸田付近の県道を通った時、「甲佐の里は暗いなー怖くないかい」と言われた。

都会の町を見慣れている人たちにはそう写ったかも。私もハンドルを握る手に、つい力が入った。自宅の回りは、割と明るいので暗さを感じたのかもしれない。

数日前、知人が仕事帰りに道の横の用水路へ落ちて、足を骨折してしまった。水が流れておらず幸いだった。真っ暗な夜道、せめてここら辺りに外灯一本あったらどんなに安全なのにと。

大きな国道、県道から一步村へ入ると、どこに道が通っているのか分からない場所がたくさんあると聞いています。

部活等で遅く帰宅する中高生さんたちのためにも、ある程度の外灯の設置は必要じゃないでしょうか。今一度、住みよい甲佐町、みんなのために。

議会だより146号の7ページ中段の⑧について、説明が不足していました。正しくは次のとおりです。

「平成26年1月から全ての個人の白色申告者に、記帳義務及び記録保存義務が課せられます。」

これまで、個人住民税所得割等が課税された個人の白色申告者の方だけに義務化されていた記録保存義務については廃止されます。

【帳簿・書類の保存期間】

保存が必要なもの		保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿(法定帳簿)	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿(任意帳簿)	5年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

記帳・帳簿等の保存制度の詳細は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)の「個人で事業を行っている方の帳簿の記載・記録の保存について」をご覧ください。

編集後記

編集後記

稲刈りシーズンも終わったが、米など重要品目が守れなければ、TPP撤退とあれほど国民に約束していたのに、ついに見直しに言及。TPPに参加すれば、町の基幹産業である農業の衰退は必至と思う。地域経済に与える影響も計り知れない。9割の国民の命を外国に委ねることになるとはまったくもって危険極まりないもので、それは、食の安全の危機でもある。子供の将来を考えても、「食の安全、安定確保は自国で」が当たり前と思う。こんなTPP、国はやめてほしい。(S・I)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本郷 昭宣
- 副委員長 井芹 しま子
- 委員 西坂 和洋
- 委員 福田 謙二
- 委員 荒田 博